

いのちをつなぐ

どろっぴ BOSAI くらぶ編



どこに避難する？

各区の地域防災拠点・広域避難所（横浜市ホームページ）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/shelter/>

震災時避難場所（地域防災拠点＝市立の小中学校）

地震発生

自宅

家屋倒壊などで
自宅に戻れない
とき

避難している小中学校などが
周辺火災の延焼拡大で危険に
なったとき

大火災時

大火災時

- ①「いっとき避難場所」など
近くの安全な場所へ
※「いっとき避難場所」は
各町内会へ確認を
どろっぴの場合：ライフ(スーパー)

- ②家屋倒壊などで自宅へ戻れな
いときは「地域防災拠点」へ
どろっぴの場合：太尾小学校

- ③大火災発生で危険な時は
「広域避難場所」へ
どろっぴの場合：港北高校

いっとき避難場所など近くの安全な場所

広域避難場所

自宅？ 避難所？

自宅が安全なら家が一番！

避難所は子供の夜泣き、騒ぐなど周りに気を遣います。
地震が起きる前に、耐震化、家具の固定、備蓄を。

小さいお子さんのいる家庭は、
自宅をシェルターにできると万が
一のときに安心です。
(※「いのちをまもる編」参照)



家にいられないときや情報が欲しいときは避難所へ。

家が倒壊、火災などでいられない場合はもちろん避難所(地域防災拠点)へ。
また避難所は安否、給水など情報が集まる場所。
自宅にいる場合でも、避難所(地域防災拠点)の場所を押さえておきましょう。

避難バッグは分けて考える

①緊急避難バッグ＝ママバッグ：

子どもと外出中に被災したら、そのまま避難所などで一晩過ごせるように。普段の装備に防災グッズをちょい足しして。

②一次避難バッグ＝いわゆる非常袋：

食事：当座の食料、離乳食、水、簡易食器類、手拭き

安全グッズ：懐中電灯、ヘルメット、軍手、携帯ラジオ、ホイッスルなど

書類：預金通帳類、母子手帳、家族写真、住所録など

身の回り品：衣類、レインコート、カイロ、携帯充電器、メガネ・コンタクト、
生理用品、簡易トイレ、水のいらぬシャンプー、歯磨きシートなど
子供を抱いて逃げるときにかつげる重量で！！ 作ったらかついでみて。

③二次避難バッグ＝安全が確認できた時に自宅へ取りに戻る、 または自宅で使う

3日～一週間分の食糧、卓上コンロとガス、水、子供のおもちゃ、生活用品など。
賞味期限を切らさないためには、ローリングストック法が有効です。

① ママバッグを緊急避難バッグに (Kさんちの場合)

通常の子供ケアグッズ + ちょい足し (防災グッズ)



コンセプト：
外出中に被災したらこの
まま避難所に行き一晩過
ごせるように。

普段の装備に、
必須の薬、粉ミ
ルクなどの必需
品や、安全・便
利グッズ、食料
や水などを足し
てみて。Let's
カスタマイズ!



参考：「すくすく子育て(NHK)」(2014.8.30放送)では、さらに多機能ナイフ、ジップロック、断熱素材のミニマット、LEDライトのヘッドライトタイプがおすすめ。

③二次避難バッグ 3日～1週間分の食料と水、生活用品

おすすめ!

すぐにできるローリングストック

賞味期限を
切らさない
ストックの方法!

1人9食分
(3日分)

+
人数を
買って相月に収納



※キャリーバッグなどに入れておくと持ち運べます。

自分や子供の好物を
ストックしておく
被災時の
心の助けにも...



食べる

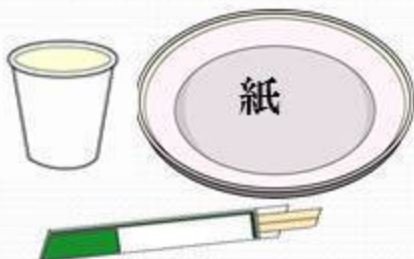


今日は疲れたから
ストックで
手抜きごはん!

福島のママが経験した、役に立ったもの・こと



紙皿の上にしくと紙皿を何度でも使える。



洗わなくていいので水が出ないときは便利。



ランタン
ろうそくよりも明るく危なくない。

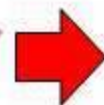
手、顔、体をふいたりできる。
だいぶさっぱり！



電気を使わずに暖をとることができ、ストーブの上で鍋を温められる（子どもはやけどに注意！）



ガスや電気がなくても温かいものを調理できる。（コンロ用のガスも準備）



クーラーバックに保冷剤を入れ冷蔵庫代わりにした（1日ぐらいは大丈夫。）



水をためておくとトイレの水に使える（小さな子どもがいるときは注意！）



バケツでタンクに水をいれて流す（直接バケツで便器から水を流すと水が飛び散る。）



役に立たなかった物

ろうそく
倒れたら危ない、火傷の危険。



防災ずきん
揺れているときに子供が取りに行こうとするので危険。

だんごむしのポーズ、バッグや座布団など身の回りのもので頭を守る。